

■ 本文

※例文は学習用に作成しています。

- ① 花を見て、しばし立ちどまりぬ。
- ② 物も言はで、ただ涙ぐみてあり。
- ③ 月のいでぬるを、待ちて出でむ。
- ④ 灯を消して、やがて寝にけり。
- ⑤ 風いたく吹きて、木の葉散る。
- ⑥ 思ふことも遂げで、空しく帰りぬ。
- ⑦ 笛をにて遊ぶ人々あまたあり。
- ⑧ 都にて聞きしことを、今ぞ思ひ出づる。
- ⑨ 雨に濡れて、衣みな乾かず。
- ⑩ 答へもせで、うつむきてゐたり。
- ⑪ かの人を頼みてこそ来つれ。
- ⑫ 道を知らで、深き山に迷ひ入りぬ。
- ⑬ 文を書いてむ、と筆を執る。
- ⑭ 病ひにて世を去りにけり。
- ⑮ 暮れ方になりて、ようやく帰りつきぬ。
- ⑯ 人にも知られで、ひそかに泣きけり。

■ 設問 (全22問)

1. ①「見て」の傍線部「て」は、(ア) 接続助詞「て」(イ) 接続助詞「で」(ウ) 完了「つ」連用形「て」(エ)「にて」のいずれか。記号で答えよ。
2. ②「言はで」の傍線部「で」は、上記(ア)～(エ)のいずれか。記号で答えよ。
あわせて、この「で」を含む部分を現代語訳せよ。
3. ③「待ちて」の傍線部「て」は、上記(ア)～(エ)のいずれか。記号で答えよ。
4. ④「消して」の傍線部「て」は、上記(ア)～(エ)のいずれか。記号で答えよ。
5. ⑤「吹きて」の傍線部「て」は、上記(ア)～(エ)のいずれか。記号で答えよ。
6. ⑥「遂げで」の傍線部「で」は、上記(ア)～(エ)のいずれか。記号で答えよ。
この「で」の文法的意味(接続)を漢字で答えよ。
7. 次の文を現代語訳せよ。「思ふことも遂げで、空しく帰りぬ。」(⑥)
8. ⑦「にて」の傍線部は、上記(ア)～(エ)のいずれか。記号で答えよ。
9. ⑧「都にて」の傍線部「にて」の意味(場所・手段・原因のいずれか)を答えよ。
10. ⑨「濡れて」の傍線部「て」は、上記(ア)～(エ)のいずれか。記号で答えよ。
11. ⑩「せで」の傍線部「で」は、上記(ア)～(エ)のいずれか。記号で答えよ。
「せで」を現代語訳せよ。

12. ⑪「頼みて」の傍線部「て」は、上記（ア）～（エ）のいずれか。記号で答えよ。
13. ⑫「知らで」の傍線部「で」は、上記（ア）～（エ）のいずれか。記号で答えよ。
そう判断できる根拠を、直前の語の活用形に触れて説明せよ。
14. ⑬「書いてむ」の傍線部「て」は、上記（ア）～（エ）のいずれか。記号で答えよ。
そう判断できる根拠を、直後の語に触れて説明せよ。
15. ⑭「病ひにて」の傍線部「にて」の意味（場所・手段・原因のいずれか）を答えよ。
16. ⑮「なりて」の傍線部「て」は、上記（ア）～（エ）のいずれか。記号で答えよ。
17. ⑯「知られで」の傍線部「で」は、上記（ア）～（エ）のいずれか。記号で答えよ。
「知られで」を現代語訳せよ。
18. 次の文を現代語訳せよ。「人にも知られで、ひそかに泣きけり。」(⑯)
19. 接続助詞「て」と「で」を見分けるとき、直前の語の活用形は、それぞれ何形になるか答えよ。
20. 接続助詞「で」が「ず+て」に由来することを踏まえ、その意味（接続）が現代語の「て」とどう異なるかを、一文で説明せよ。
21. 完了の助動詞「つ」の連用形「て」を、接続助詞「て」と見分けのための目印を、一つ答えよ。
22. ⑨「濡れて」と⑥「遂げで」について、傍線部の直前の語をそれぞれ終止形に直して答えよ。